

「カイゼン・チャレンジ富士」

カイチャレ 優秀事例集 2021

富士市総務部行政経営課
令和4年3月発行

富士市では、職員自らが改善報告等に積極的に取り組むことにより、職員の意識改革及び組織の活性化を図り、もって行政運営の効率化及び市民サービスの向上に寄与することを目的に、事務改善制度（愛称：カイゼン・チャレンジ富士）を導入しています。

この優秀事例集は、職員の知恵と工夫で改善した実践事例のアイデアやプロセスを共有し、改善事例の水平展開を図ることを目的として作成しました。

いただきへの、カイチャレ

職員一人ひとりがカイゼンを「自分ゴト化」することで、
「理想の市役所」の実現、
さらには「理想の富士市」の実現に繋げる挑戦！！

いただきを目指してカイ
ゼンにチャレンジ



職員の
いただき



富士市役所
のいただき



富士市の
いただき

富士山のふもと
しあわせを実感
できるまち ふじ

富士市

カイチャレ2021 優秀事例一覧

No.	内容
1	「設計書情報提供システムの導入」 総務部 総務課 文書担当 佐野公信・松田信宏
2	「『若手職員によるコロナ対策及びデジタル変革の推進!』年末調整説明会に代わる『給与支払報告書の書き方及び提出方法』の動画作成及びYouTubeでの公開」 財政部 市民税課 市民税第一担当 担当一同
3	「QRコードを活用した、外国人市民への通知」 市民部 多文化・男女共同参画課 国際交流室 吉野正敏・加藤千代美・山本 杏・太田達也
4	「窓口受付事務の改革 ～電子申請システムによる、完全予約制の導入～」 福祉こども部 こども家庭課 子育て給付担当 櫻井秀彦・九十九洋・小林咲織
5	「3歳児健康診査（眼科健診）へのスポットビジョンスクリーナー導入」 保健部 地域保健課 総務担当 佐野愛実・榛葉敦子・稲葉清美・石川智一
6	「ごみ集積所看板の多言語化集約」 環境部 廃棄物対策課 廃棄物対策担当 佐野純士・山田裕貴
7	「中小企業信用保険法にかかる認定申請受付の効率化 ～『申請チェックリスト』の導入～」 産業経済部 産業政策課 産業政策担当 小林 桂・鈴木克幸・渡邊祐華
8	「部の垣根を越えた委託業務の一元化による事業価値の向上」 都市整備部 都市計画課 都市政策担当 廣瀬和彦 建設部 建設総務課 土木管理担当 佐野 淳
9	「ウェブサイト上でも業務連携」 上下水道部 下水道建設課 計画担当 福永大輔・堀部恭之・伊東 巧・鈴木正寛
10	「オンライン面会予約表の一覧表示のVBA化」 中央病院事務部 医事課 システム担当 露木秀俊
11	「花火教室DVD作成 ～火災予防を止めない『思いをかたちに』」 消防本部 西消防署 予防担当（第一） 伊勢谷真史
12	「児童生徒用机の天板交換方法の改善」 教育委員会 教育総務課 総務経理担当 永尾倫子

設計書情報提供システムの導入

【カイゼンのきっかけ】

総務課では年間 650～700 件の公文書公開請求の受付をしていますが、その多く（350～400）が建設工事等の単価や金額が記載された金入り設計書の公開請求でした。請求は、ほとんど建設業者等の法人による事業目的の請求で、全部公開となることが多いのですが、1 件ごとに公開の是非を決裁して処理するため、総務課だけでなく、所管する所属にとっても手間と時間がかかるものでした。



【こんなカイゼンをしました！】

金入り設計書の公開について、公文書公開とは別に、ネットワークを通じた情報提供が可能となる「設計書情報提供サービス」システムを導入しました。事前に金入り設計書をこのシステムに登録しておき、請求者がシステムに申請すると翌日、URLが記載された返信メールが届き、金入り設計書をダウンロードできます。静岡県が先行して導入したシステムと同一のため、導入もスムーズでした。



【カイゼンの効果】

〈公開請求者〉

- ・ネットワークで公開することにより、写しの受領等に際し来庁が不要となる。
- ・公開の際のコピー代金や郵送料の負担が不要となる。
- ・写しの受領までの期間が短縮される。（翌日交付）

〈本市〉

- ・公開までの処理に要する職員の業務量が削減できる（従来は、1 件あたり公開までに延べ 60 分以上の業務量）。
- ・業務のデジタル化が図られる（対面交付がなくなり、新型コロナウイルス感染防止にも貢献）。
- ・一度登録すれば、その後同一の設計書に公開請求があった場合に事務処理が不要

【カイゼン者のコメント】

設計書情報提供システムを令和 3 年 9 月から開始した後、前年同時期と比べると請求件数が 100 件減っています。その処理に要する時間も減ったため、別に取り組みを始めることもできました。システムの導入ということで、費用のかかるカイゼンではありますが、多くの職員の業務量の軽減を図ることができたため、とても効果が高いものと考えています。

「若手職員によるコロナ対策及びデジタル変革の推進！」年末調整説明会に代わる

「給与支払報告書の書き方及び提出方法」の動画作成及びYouTubeでの公開

【カイゼンのきっかけ】

年末調整の説明会を毎年11月に行っていましたが、コロナ禍となり、2年連続で開催することができませんでした。その結果、問合せが増加し、職員の業務量が例年より増加してしまいました。

こうした状況がきっかけとなり、コロナ禍でも情報を発信する方法を考え、説明会に代わる動画を作成し、YouTube及びウェブサイトで公開することにしました。



【こんなカイゼンをしました！】

「給与支払報告書の書き方及び提出方法」を説明した動画を作成し、YouTube及びウェブサイトにて公開しました。若手職員を中心に企画、脚本、演出、出演、ナレーション、撮影、編集まで全て手作りでを行い、寸劇を交え親しみが湧くよう工夫しました。

また、視聴しやすいように、3分から6分に収まる動画にしました。提出時の注意点や給与支払報告書の書き方などについて、パワーポイントを使って6種類の動画に分けて、利用者が知りたい項目ごとに視聴できるようにしました。

【カイゼンの効果】

動画を公開することで問合せも少なくなり、事務の軽減と納税者の利便性向上が図られました。また、大規模集合方式の説明会から動画配信方式にしたことにより、直接会場に足を運ばなくても説明を聞くことができ、開催通知や会場設営等の事前準備を省力化することができました。令和4年2月25日時点で6種類の動画の総再生回数は1,700回を超えることができました。



【カイゼン者のコメント】

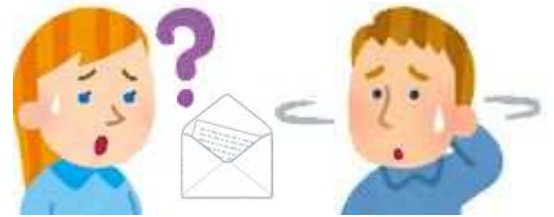
当初、真面目な動画を撮影していましたが、課長から親しみのある面白いものを作ってほしいとの話がありました。そこで寸劇を交えながら、若手職員が顔を出して説明をすることで、難しい年末調整の説明を少しでも息苦しくなく見てもらえるように工夫をしました。

再生回数も全ての動画で三桁を超え、作成した甲斐を感じられました。

QRコードを活用した、外国人市民への通知

【カイゼンのきっかけ】

外国人市民から「市の通知の内容が、日本語が分からなくて理解できない」という声が多く寄せられていました。また、市の重要な通知の封筒であっても、日本語だからと開封さえてもらえないという状況があり、こうした現状をカイゼンしたいと考えたことがきっかけです。



【こんなカイゼンをしました！】

市の通知の封筒や書類にQRコードを付け、専用のページに案内し、ウェブサイト上でGoogle自動翻訳機能を使って、通知の内容の説明を多言語で閲覧できるようにしました。

併せて、専用サイトの各ページ内に、国際交流ラウンジの対応言語等を掲載し、国際交流ラウンジを外国人市民の方へ周知することにしました。



【カイゼンの効果】

各通知に対応したQRコードを各所属が封筒や書類に付けることで、外国人市民が読み取った先の専用サイト上で多言語化された通知の概要を確認できるようになりました。これにより、どのような通知であるのかわかるようになり、外国人市民へ確実に情報が届くようになることに繋がっていきと考えています。

また、各所属が専用サイト上の一定のルールのもと、通知の情報の管理や更新などに取り組むことで、全庁的に外国人市民への情報発信のあり方などについて意識の共有が図られ、市の通知などがわかりやすい内容になっていくことが期待できます。

- ・専用サイト構築費用（約500,000円）
- ・運用経費（年間33,000円）

【カイゼン者のコメント】

実は、このカイゼンは、国際交流室だけでできたものではありません。QRコードを使うというアイデア、専用のウェブページを作るといったアイデア…いろいろなアイデアを、様々な所属の皆さんが提案してくれたおかげで実現したものです。外国人市民への支援は国際交流室の仕事ですが、今回のように他の所属からアイデアをいただいたり、私たちがいろいろと目配りをしたりしながら、富士市を日本人にも外国人にも住みやすいまちにできるよう、これからもカイゼンを心がけていきます。



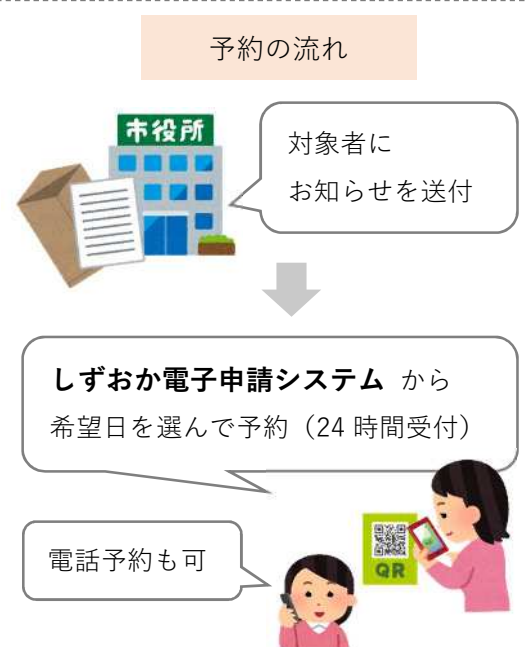
窓口受付事務の改革

～ 電子申請システムによる、完全予約制の導入 ～

カイゼンのきっかけ

市民の待ち時間や職員の負担、コロナ禍… 市民課のカイチャレをTTP!

- ✓ こども家庭課では、毎年8月に児童扶養手当の現況届の受付を行っています。対象者は約2,000人、多い日には1日当たりの350人ほどの来客があるため「窓口の待ち時間が長いこと」や、大会場にて受付を行うため「課が手薄になること」が課題でした。
- ✓ さらにコロナ禍で「感染症対策に配慮した受付体制」が必要となりました。
- ✓ そんな中、カイチャレNEWSで市民課の「マイナンバーカードの受取予約の電子化」を知り、TTP（徹底的にパクリ）で即実践しました。



こんなカイゼンをしました!

カイゼン前

- ✓ 1週間の集中受付期間を設け、先着順で受付
- ✓ 集中受付期間中は、土日祝日も開設

- ✓ 密になる集中受付を見直し、課窓口にて **完全予約制** で受付
- ✓ 土日祝日開設の代わりに、**夜間対応（平日午後7時まで）** ※どちらも1か月間

4つのカイゼン効果

市民にとっても、職員にとっても◎

市民の目線



約9割の市民が「予約制が良い」と回答
※こども家庭課が実施したアンケートより

職員の目線



1 待ち時間の短縮

待ち時間が最大2時間から15分程度に。「今後も続けてほしい」と大好評をいただきました!

3 負担の軽減

「急がなければ」という精神的な負担の軽減がされ、休憩時間も休めるように。大会場の設営準備も不要に!

2 予定が立てやすくなった

受付期間を1か月に延ばし、夜間対応もしたことで「予定が立てやすい」と喜びの声をいただきました!

4 協力体制の充実

課窓口にて受付をすることで、課が手薄にならず、職員全体で協力出来るように!

【カイゼン者のコメント】

今回の改善において、市民課さんや情報政策課さんには大変なご協力をいただきました。この場をお借りして、お礼を申し上げます。事務改善は、市職員として「当たり前のこと」ではありますが、今回の改善が市民からも職員からも好評をいただき、改善の意欲にもつながりました。今後は、今回の反省を活かし、さらに市民に寄り添った改善につなげていきます。

保健部地域保健課総務担当

カイゼン者

佐野愛実

榛葉敦子・稲葉清美・石川智一

3歳児健康診査（眼科健診）への

スポットビジョンスクリーナー導入

【カイゼンのきっかけ】

従来の3歳児健康診査では、眼科医師診察、身体測定、内科・歯科健診を行い、最後に屈折検査を実施していました。健診では、慣れない場所や人、機嫌によって大泣きする子どもが毎回数人います。さんざん泣きじゃくった子どもが、最後の屈折検査会場の暗室になかなか入れず、困った保護者の疲れ切った姿、検査ができずにごっかりする親子の姿を何度も目にしました。

【こんなカイゼンをしました！】

従来の眼科健診で実施していた眼科医師診察と屈折検査を廃止し、より簡易で精度が高い検査ができるSVS*を導入しました。医師会眼科医会と検討し、SVSの検査に加え、問診や家庭での視力検査を併せた基準を作成し、過不足なく精密検査対象児を抽出できる現方法に変更しました。

※スポットビジョンスクリーナー（SVS）とは

眼科健診の主な目的である弱視の危険となる屈折異常や斜視等を検出できる機器。半暗室で音がするキラキラ光るカメラを数秒間見ているだけで検査は終了する。

実際に使用しているSVS ⇒



【カイゼンの効果】

1 検査が受けられない子の減少【R2：19人 → R3：1人】

従来の検査機器では怖がって検査できない子どもがいましたが、SVSに替えることでほとんどの子どもが検査可能になりました。

2 受診時間の短縮【R2：4分30秒 → R3：SVS：30秒】

眼科医師の診察に1分30秒、機器による屈折検査に3分かかっていましたが、カイゼンにより30秒に短縮できました。

3 健診の質の担保

46人の異常所見者を発見、治療に結びついています。

4 委託料及び報酬費の削減【年間で78万7千円の削減】

眼科医師委託料及び視能訓練士報酬費を削減、SVS賃借料を加えたことで、コストを大きく削減できました。



SVSを使った検査の様子

【カイゼン者のコメント】

SVS導入時は、基準や資料作成、情報共有等の業務量が一時的に増えましたが、現在は健診時間が短縮し、親子とスタッフの負担軽減につながりました。初めての眼科健診が、ポジティブな成功体験であることは、費用削減はもちろん親子にとってプラスレスであると考えます。今後も健診の精度を担保しながら、親子の負担を軽減できるよう努めたいと思います。



ごみ集積所看板の多言語化集約



【カイゼンのきっかけ】

市内ごみ集積所に掲げる看板について、これまでは日本語以外に英語、ポルトガル語、スペイン語、韓国語、中国語の看板をそれぞれ用意していました。

希望する町内会に配付していましたが、町内会長から「**どこの国の出身者がわからないため、外国語看板を何枚もつける必要があり、掲示スペースも無く困っている**」との相談がありました。



【こんなカイゼンをしました！】

- ◎ 看板の記載内容を必要最小限に減らしました。
- ◎ 1枚に日本語、英語、ポルトガル語、中国語、ベトナム語の**5言語で記載した看板**を作成しました。

ごみは収集日の朝8:30までに出してください。
Please put out garbage by 8:30 am on the collection day.
Jogar o lixo até as 8:30 hrs da manhã do dia de coleta.
垃圾请在收集日当天早上8:30以前倒出。
Vui lòng bỏ rác trước 8:30 sáng trong ngày thu gom.

収集日 Day 日	収集時間 Time 時	収集場所 Location 所	収集品 Collectible 品
毎週 Monday 日	11:00 - 12:00 Segunda-feira 週一 Thứ Hai	富士市指定の「燃えるごみ専用袋」 Suares de coleta 富士市指定の「燃えるごみ専用袋」 Suares de coleta Hàng túi rác có hình ngọn lửa.	燃えるごみ Resíduos inflamáveis 可燃垃圾 Chất thải dễ cháy.
毎週 2nd Saturday 日	11:00 - 12:00 2ª Sábado 週二 Thứ Ba	富士市指定の「燃えるごみ専用袋」 Suares de coleta 富士市指定の「燃えるごみ専用袋」 Suares de coleta Hàng túi rác có hình ngọn lửa.	燃えるごみ Resíduos inflamáveis 可燃垃圾 Chất thải dễ cháy.
毎週 1st Friday 日	11:00 - 12:00 1ª Quinta-feira 週五 Thứ Năm	富士市指定の「燃えるごみ専用袋」 Suares de coleta 富士市指定の「燃えるごみ専用袋」 Suares de coleta Hàng túi rác có hình ngọn lửa.	燃えるごみ Resíduos inflamáveis 可燃垃圾 Chất thải dễ cháy.
毎週 2nd Friday 日	11:00 - 12:00 2ª Quinta-feira 週五 Thứ Năm	富士市指定の「燃えるごみ専用袋」 Suares de coleta 富士市指定の「燃えるごみ専用袋」 Suares de coleta Hàng túi rác có hình ngọn lửa.	燃えるごみ Resíduos inflamáveis 可燃垃圾 Chất thải dễ cháy.
毎週 3rd Friday 日	11:00 - 12:00 3ª Quinta-feira 週五 Thứ Năm	富士市指定の「燃えるごみ専用袋」 Suares de coleta 富士市指定の「燃えるごみ専用袋」 Suares de coleta Hàng túi rác có hình ngọn lửa.	燃えるごみ Resíduos inflamáveis 可燃垃圾 Chất thải dễ cháy.
毎週 4th Friday 日	11:00 - 12:00 4ª Quinta-feira 週五 Thứ Năm	富士市指定の「燃えるごみ専用袋」 Suares de coleta 富士市指定の「燃えるごみ専用袋」 Suares de coleta Hàng túi rác có hình ngọn lửa.	燃えるごみ Resíduos inflamáveis 可燃垃圾 Chất thải dễ cháy.

もえるごみ 集積場所
収集日
毎週火・金曜日
(注)かならず定められた曜日の朝袋等に入れてきちんと出して下さい。
富士市役所・富士環自協

燃えるごみ 集積所
収集日 火・金曜日
富士市指定の「燃えるごみ専用袋」に入れて出す。
Put the garbage in a special bag for burnable garbage designated by Fuji City and take it out.
Colocar no saco específico para lixo incinerável designado pela cidade Fuji e descartá-lo.
Hãy bỏ rác vào một chiếc túi đặc biệt để đốt rác ở thành phố Fuji chỉ định và bỏ ra ngoài.
富士市役所



【カイゼンの効果】

- ① 町内会長による外国人居住者の出身国の特定不要
= 町内会の負担減
- ② 掲示場所の省スペース化
= 施設の有効活用
- ③ 看板の作成枚数の削減
= 市の経費削減



【カイゼン者のコメント】

町内会からは、①、②で高評価をいただきました。町内会の負担軽減などを目的にカイゼンを行いましたが、③まで実現することができました。町内会長の声を大切に、相手の目線でカイゼンした結果、市民サービスや利便性が向上しました。

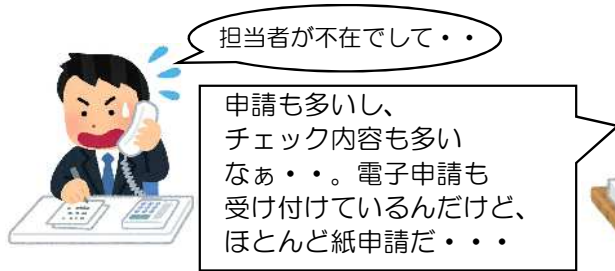
中小企業信用保険法にかかる認定申請受付の効率化 ～「申請チェックリスト」の導入～

【カイゼンのきっかけ】

新型コロナウイルス感染症の影響により、国が中小企業信用保険法におけるセーフティネット保証等を発動したことから、市で事業者の認定申請を受け付けています。

昨年度は、ピーク時で1日100件程度の申請を受け付けており、職員の負担が増大し、担当以外の職員も対応を行っていました。

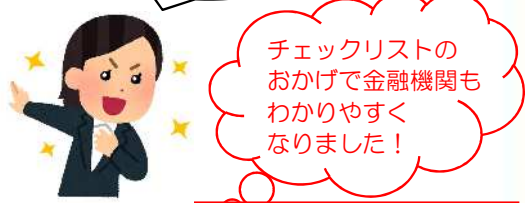
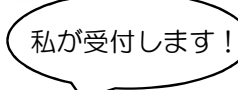
申請書



【こんなカイゼンをしました！】

申請件数が多いため、今年度4月より、申請の注意点をまとめたチェックリストを作成しました。

申請者（主に委任を受けた金融機関）による事前チェックを行い、できる限り不備を減らすことで窓口での対面によるチェック作業を省略することができました。



【カイゼンの効果】

チェックリスト導入後は、窓口で書類を受け取るのみとなり申請者（金融機関）の待機時間がほぼ無くなりました。カイゼン前は対面によるチェック作業に5分程度かかっていましたが、カイゼン後は30秒程度で対面による受付終了です。

これは、感染リスクの低減にも貢献しており、また、電話での事前相談の際も「チェックリスト」をもとに説明することで内容を伝えやすくなりました。

受付のチェックポイントを共有することで、前年度に比べて書類の不備が減り、メインの担当職員が不在であってもスムーズな受付が可能となり、効率的な運用に繋がりました。

【カイゼン者のコメント】

今回の業務は、形式的なチェックがメインとなる事務作業ですが、多くの申請者とやりとりを行うため、昨年度より分かりやすい周知が求められていると感じていました。

チェックリストを作成したことで、申請者だけではなく、新たに異動してきた担当の職員にも、効率的にチェックポイントを共有することが出来ました。申請処理の効率化に一役買っていると思います。

カイゼン者

都市整備部都市計画課都市政策担当

廣瀬和彦

建設部建設総務課土木管理担当

佐野 淳

部の垣根を越えた委託業務の一元化による事業価値の向上

カイゼンのきっかけ

～定期的な委託業務のコスト縮減と予算の平準化、関連業務の連携強化等～

- ✓ 都市計画課では、タウンマップや全庁型 GIS、各種マップの基図となる都市計画基本図を 5 年サイクルで更新しているが、約 9 千万円かかる委託料のコスト縮減と予算の平準化が必要でありました。
- ✓ また、毎年実施している関連の地理情報更新業務である航空写真業務（資産税課）及び道路・橋梁台帳補正業務（建設総務課）もコスト縮減が課題となっており、今後も事業を継続して実施できるよう、業務の連携強化等により業務レベル（機能）を損なわずコスト縮減を図る事業価値の向上が求められていました。



都市計画基本図は、様々な MAP の基図として活用されています。

こんなカイゼンをしました

部の垣根を超え、業務を一元化した 5 年間の長期包括的業務委託の実施

- ✓ これまで、それぞれの担当課で個別に実施（発注）してきた 3 つの業務委託を、部・課の垣根を越えて、業務内容の連携や業務スケジュール等の調整を図り一元化し、5 年間の包括的業務委託を発注しました。



カイゼンの効果

～市・受託者ともに Win-Win (コスト縮減と作業効率向上による事業価値の向上)～

行政

- **6,770 万円/5 年のコスト縮減**
…業務の連携強化や労務単価上昇の抑制などによりコスト縮減が図れました！
- **予算の平準化**
…短期間の巨額の支出を抑制でき、予算の平準化が図れました！



受託者

- **作業効率の向上**
…繁忙期の業務を予め調整できるなど、効率的な事業運営が可能になりました！
- **長期間の契約（収益）の担保**
…長期間にわたる業務委託の契約（収益）の担保が図れました！

【カイゼン者のコメント】

従来と同じ品質で低コストを可能にしたこの取組は、他都市の事例がほとんどないことから、仕様書作成や調整など困難でありましたが、3つの担当課が歩調を合わせ協力した結果、大きな効果を得ることができました。担当内というミクロの視点だけではなく、市全体の業務を見渡したマクロな視点で取り組むことの重要性を強く認識しました。

ウェブサイト上でも業務連携

【カイゼンのきっかけ】

下水道建設課の業務のひとつに公共下水道管の整備があり、公道上は市で整備を行っています。私道については個人整備を基本としていますが、一定の要件を満たした場合に限り、私道でも市で整備する制度（私道申請）があり、案内を市ウェブサイトに掲載しています。

一方で、下水道が整備された区域には受益者負担金が賦課されることが条例で定められていますが、私道においても同様で、下水道が整備されれば受益者負担金が賦課されます。

私道申請を受け付ける際には、申請代表者に対し整備要件や受益者負担金について確認することとしていますが、中には受益者負担金が賦課されることを事前に知らなかったという対象者もあり、金銭面のハードルから申請が円滑に進まないケースがありました。

【こんなカイゼンをしました！】

受益者負担金は、上下水道営業課が所管しており、市ウェブサイト案内に掲載されています。しかし、私道申請とは別の独立したページに掲載されていたことから、市民にとっては私道申請と受益者負担金が密接な関係にあることに気がつきにくい状況になっていました。そこで、私道申請を案内するページに受益者負担金を案内するページへのリンクを掲載し、目につきやすい場所に配置することでカイゼンを図りました。



【カイゼンの効果】

申請者が来課する際には、あらかじめ私道申請と受益者負担金の関係性を承知したうえでお越しいただけるようになりました。

その結果、私道申請時に受益者負担金について、再度調整を要することが少なくなったため、円滑な申請手続が行われるようになりました。



【カイゼン者のコメント】

申請書をウェブサイトダウンロードできることから、私道申請を希望する多くの市民は、当該ウェブページを閲覧します。ウェブサイトを変更する簡単なカイゼンですが、マイナスイメージのある受益者負担金について事前に予備知識を持って来課していただけるようになり、窓口対応が円滑に進むようになりました。受益者負担金については、他課が事務処理を行っておりますが、通常業務上だけでなくウェブサイト上でも業務を連携することができました。

オンライン面会予約表の一覧表示のVBA化

【カイゼンのきっかけ】

中央病院では新型コロナウイルス感染防止のため、原則入院患者の面会を禁止し、タブレット端末を使用したオンライン面会を令和3年2月より開始しました。

このオンライン面会は、予約制で実施していますが、予約の管理を各病棟フロア別のEXCELファイルを用いて管理していました。予約者への対応をするに当たっては、各病棟フロアのEXCELファイルを手動でまとめ、全病棟予約一覧を日々作成していました。また、予約受付は、当日受付の場合もあり、日に何度も情報の更新を手動で行っており、非常に手間となっていました。



【オンライン面会用タブレット端末】

【こんなカイゼンをしました！】

EXCELのVBAを活用し、自動処理化を実現しました。

ボタンを1つクリックするだけで、各病棟フロアのEXCELファイルから当日のデータを抽出し、全病棟の当日予約一覧表を作成できるようにしました。

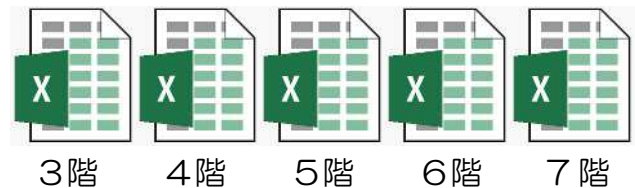
【カイゼンの効果】

手動で行っていた作業時間と比べて、圧倒的に早く予約表を更新することが可能となり、予約者の対応を大幅に改善することができました。

【カイゼン者のコメント】

「この表、自動で作成できないかな？」カイゼンのきっかけは、担当内での何気ない一言でした。同じ表をまとめるだけだからできる、という発想に立って考え、試しに作ったところ好評でした。使いながら改善点を話し合い、根本から作り直すことなどは大変でしたが、納得のできるよいものができました。普段のちょっとした会話からカイゼンは生まれると感じました。

【各病棟フロアのエクセルファイル】



【VBAを活用し当日予約一覧表自動作成】

2月9日		読込			
病棟		13:30			
	病室	患者氏名	来院者	病室	患
3階	ICU/3B/3C				
4階	4A/4B				
5階	5A/5B				
6階	6A/6B	660 富士 太郎	娘	663	富
7階	7A/7B	718 富士 太郎	夫・娘	710	富



花火教室DVD作成

～火災予防を止めない「思いをかたちに」～

カイゼンのきっかけ

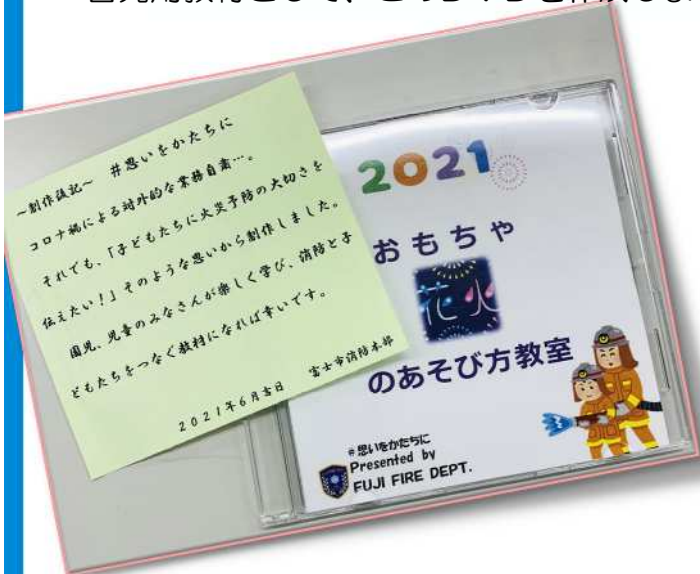
幼少期の子どもに対する火災予防教育の一つとして実施していた「花火教室」が、新型コロナウイルス感染症の影響により2年連続で中止となり、子どもたちが消防職員と触れ合い、消防業務について興味や関心を抱く機会も失われました。しかしながら、「子どもへの火災予防の普及活動を停滞させることはできない」という思いから火災予防啓発用教材として、このDVDを作成しました。



こんなカイゼンをしました

「花火のしゅるい」「よういするもの」「花火のあそび方」「クイズ」の4つの要素をパワーポイントにまとめ、MP4に変換し、約11分間の動画としてDVDに収録しました。このDVDにメッセージカードを添えて、市内の幼稚園、保育園、認定こども園及び小学校（計90か所）に配付しました。

なお、市消防本部の公式YouTubeチャンネルに収録した動画をアップし、いつでも視聴できるようにしました。



カイゼンの効果

感染リスクを軽減し、かつ火災予防教育の目的を達成することができました。

また、以前から雨天などにより花火教室が中止となる場合がありましたが、そうした場合も本教材を活用することで、事業目的を達成することができるようになりました。



カイゼン者のコメント

花火教室が再開されるまで、子供たちと消防職員を繋ぐ教材として制作しました。職員の思いを「かたち」にした本教材は、市内の幼稚園や保育園、小学校での防火教育に活用していただきました。

with コロナの時代。時代に即した手法で業務の推進が必要になると考えます。今後も新たな視点に立ち、積極的な火災予防の啓発に取り組んでまいります。

児童生徒用机の天板交換方法の改善

【カイゼンのきっかけ】

市内には小・中学校が43校あり、児童生徒は約2万人います。各学校の教室で使用する机・椅子のメンテナンスは毎年業者に依頼し、破損具合の酷いものから更新や修繕を行ってきました。しかしながら、材料価格の高騰等で単価は上昇している中で、更新は遅れ気味となり、修繕についても対応できる台数が減少し、学校からの要望をかなえることができない状況が続き、なんとかしたいと考えるようになりました。

【こんなカイゼンをしました！】

小・中学校の児童生徒用の机は、天板が傷ついた場合には、天板を交換して使えるようにして、経費の節減を図ることとしています。

この交換作業を、これまでは業者に発注していましたが、教職員の協力を仰ぐことで、天板等を購入して職員が交換するタイプと天板の上から貼り付ける作業が簡易なタイプの2種類を用意し、作業の負担や損傷の程度により選択できるように工夫しました。



△ 貼り付けるタイプの天板 ▽

【カイゼンの効果】

単価が下がったため、令和2年度よりも多くの机を改修することができました。令和3年度に改修した台数を令和2年度の単価で改修した場合と比較すると、経費を6,094,195円（税別）も削減できたこととなります。

〔経費比較〕

○令和3年度

交換 922枚 × @2,040円 = 1,880,880円

貼付け 541枚 × @2,025円 = 1,095,525円

計 2,976,405円

○令和2年度（仮）

交換 1,463枚 × @6,200円 = 9,070,600円

（比較削減額）△6,094,195円



【カイゼン者のコメント】

この取組は、日々の業務でご多忙の中、アンケートや現地調査等にご協力頂いた教職員の皆様のお陰で実行できました。また、交換作業の負担に関してもご理解を頂き、この場をお借りして感謝申し上げます。担当では、今後も学校備品の適正な管理に努めてまいります。

この優秀事例集は、私たちカイチャレSATが作成しました。
あなたの仕事や職場をよりよいものにする一助になれば幸いです。

令和3年度カイチャレSAT

- 山本 智也 (総務部 情報政策課 上席主事)
近藤 匠 (財政部 資産税課 主事補)
渥美 利恵 (市民部 多文化・男女共同参画課 上席主事)
佐藤 由香 (福祉こども部 保育幼稚園課 主事)
鈴木 祐貴 (保健部 国保年金課 主査)
岡本 涉 (環境部 環境総務課 上席主事)
渡邊 俊輔 (産業経済部 農政課 上席技師)
高田 淳二 (都市整備部 市街地整備課 主査)
川西 涼太 (上下水道部 生活排水対策課 上席主事)
林 知幸 (建設部 道路整備課 技師)
井出 将斗 (中央病院 医事課 上席主事)
長橋 光紗 (消防本部 予防課 消防士長)
若月 裕文 (教育委員会 学務課 上席主事)
-